



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)ラ・フォルム新鶴見ラウンドパーク新築工事	階数	地上7F
建設地	横浜市鶴見区江ヶ崎1番12	構造	RC造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	406 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 竣工	評価の実施日	2017年7月28日
敷地面積	3,732 m ²	作成者	株式会社佐藤秀一級建築士事務所
建築面積	1,397 m ²	確認日	2017年7月28日
延床面積	7,894 m ²	確認者	株式会社佐藤秀一級建築士事務所

外観パース等

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

環境品質 G (0-100) vs 環境負荷 L (0-100)

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値: 100% (184 kg-CO₂/年・m²)
 ② 建築物の取組み: 78% (143 kg-CO₂/年・m²)
 ③ 上記+②以外の: 78% (143 kg-CO₂/年・m²)
 ④ 上記+: 78% (143 kg-CO₂/年・m²)

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q2 サービス性能: 5
 Q1 室内環境: 3
 Q3 室外環境(敷地内): 2
 LR1 エネルギー: 2
 LR2 資源・マテリアル: 2
 LR3 敷地外環境: 2

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.0

LR のスコア = 3.4

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.9

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.3

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>公園と小学校に隣接しており、駅からもほど近い利便性の高い敷地であるため、ファミリー層を意識した共同住宅を計画した。また、良好な住居環境を提供する為に音環境や将来の改修に主眼をおき、地球温暖化や水資源確保など地球環境に配慮した計画となるようにした。</p>	<p>その他</p> <p>建設工事において発生する廃棄物は徹底して分別を行い、資源のリサイクル化に努める。</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>リビング・ダイニングに適度な大きさの開口部を計画し、室内の明るさの確保に配慮した。また、建物に使用する建築材料をほぼ全面的にF☆☆☆☆とした。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>バリアフリー性能の高い計画とすることで高齢者の入居にも考慮した。また、節水型器具の使用等によりランニングコストを抑えた計画となるように配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>可能な限り植栽帯を設置し、地域環境と地球環境に貢献できる計画とした。</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>各設備機器毎に取扱説明書を手渡し、使用機器の理解度の向上を図ることとした。住戸窓は空気層6ミリの複層ガラスとし、熱負荷低減に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>ODP=0の冷媒、断熱材の使用により地球温暖化対策を講じた。また、節水コマの使用等により節水を行い、地域の水資源の確保に努める。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>敷地内に屋内型のごみ置場を設置し、多種分別可能なストックスペースを確保し廃棄物処理負荷抑制に努める。</p>

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



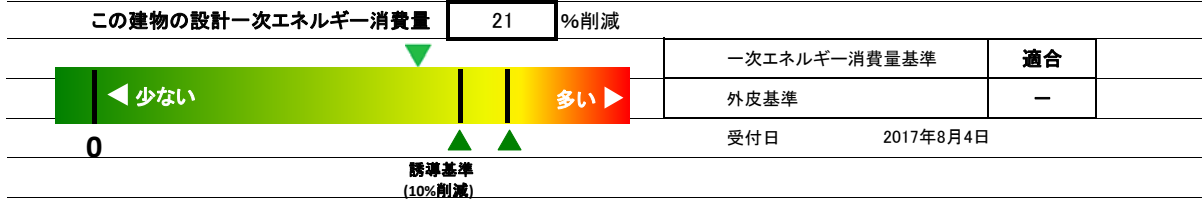
4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <集合住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)ラ・フォルム新鶴見ラウンドパーク新築工事

建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 **5**

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

③省エネルギー性能の高い設備を計画し、一次エネルギー消費量の削減に努めた

健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【健康・安心】 **2**

■室内環境対策 (⑤外皮性能)

◆断熱等性能等級 等級3 (相当)

■健康・安心対策 (⑥健康対策 ⑦防犯対策)

⑥F☆☆☆☆の建材をほぼ全面に採用した。

■その他の対策 (⑧自然材料・通風の工夫など)

◆工夫の有無 なし

防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 **3**

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

⑰壁、天井など主要な内装仕上げをビニルクロス貼りとし、耐用年数の向上を図った。

地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 **2**

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入	環境配慮技術の導入 (太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入	
